

謹賀新年



宜野湾市長 松川 正則

輝かしい希望に満ちた新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は本市政へのご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

私は、昨年9月に行われた市長選挙において、活力と活気に満ちた、豊かで、安心して住み続けられるまち「やっぱり、宜野湾がいちばん」を掲げ、二期目の当選を果たし、第19代宜野湾市長に就任致しました。

昨年は、コロナ禍等により、市民生活や地域経済に大きな影響が及んだ一年でありましたが、感染拡大への警戒を図り、地域経済を下支えする支援策に取り組んでまいりました。

本市の最大の課題である普天間飛行場については、固定化を許さず、一日も早い閉鎖・返還と返還までの間の危険性の除去及び基地負担軽減の確実な実現を求めてまいります。

また、キャンプ瑞慶覧西普天間住宅地区跡地につきましては、引き続き土地区画整理事業等による都市基盤整備、琉球大学医学部及び大学病院と連携した『沖縄健康医療拠点』の形成を図り、今後返還される基地跡地利用の先行モデル地区にふさわしいまちづくりを進めてまいります。

今年、沖縄県中部エリアで、バスケットボールの国際大会（ワールドカップ）が開催され、トップ選手たちによる世界最高峰の戦いが繰り広げられます。沖縄県及び関係市町村とも連携し、本市も機運醸成や選手、関係者の受け入れ態勢の整備などを進め、大会の成功に繋げてまいります。

結びに、新しい年が皆様にとって幸多き年となりますことを心から祈念申し上げ、年頭のあいさついたします。

令和5年 新春



宜野湾市議会議長 呉屋 等

明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、希望に満ちた令和5年の新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は市議会活動に対し、市民皆様から格別の御支援と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年9月に執り行われました市議会議員選挙において、市民の負託を受けた26人の議員が、第22期市議会議員として議会・議員活動に取り組んでおります。

議会の最高規範である議会基本条例を基に、市民の代表機関として、皆様の思いに応え、市民生活の安定及び福祉の向上、並びに市政の発展のため臨んでいく所存でございます。

今後、沖縄健康医療拠点として待ち望まれている西普天間住宅地区の開発をはじめ、西海岸地域の活性化など、更なる発展の可能性を秘めた本市において、二元代表制の一翼を担う市議会の果たすべき役割への期待は、ますます高まっております。

また議会改革の一環として、新型コロナウイルス感染防止を図りながら議会活動の報告を行う場を、インターネット上にて報告いたしました。市民の皆さまより頂いた数多くの貴重な御意見を市政の課題として捉え、議会で調査や検証を行い、市長への政策提言につなげるよう努めてまいります。

これからも議会の更なる飛躍に向けて、議員が一丸となり、議会の権能である行政の監視、調査及び政策提言の強化拡充に取り組んでまいりますとともに、今後も市民の皆様のお一層の御指導並びに御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本市の益々の発展と、本年が皆様にとりまして、幸せで実りの多い希望に満ちた一年となりますよう衷心より祈念申し上げ、新年の御挨拶いたします。

令和5年 新春